

2025. 秋 号

2025.10 発行

空 Sora

一橋病院 広報誌

- 股関節センターのご案内
- 変形性股関節症のリハビリについて
- フレイル予防のための食事ポイント
- 外来担当医表

小平市立中央公園（職員撮影）



医療法人社団武蔵野会

一橋病院

股関節センターのご案内①

[最新医療]一橋病院 副院長/股関節センター長

渡邊 実 (わたなべ みのる)

股関節・人工関節・再置換術・骨切り術のスペシャリストが「股関節センター」を開設



TMG MEDICAL NEWS

股関節・人工関節・再置換術・骨切り術の
スペシャリストが「股関節センター」を開設

一橋病院 副院長/股関節センター長

渡邊 実 Watanabe Minoru

Toda
Medicalcare
Group



PROFILE

渡邊 実 (わたなべ みのる)

2003年、昭和大学（現・昭和医科大学）卒業。

同年、昭和大学藤が丘病院（現・昭和医科大学藤が丘病院）整形外科に入局。

渥美敬先生（現・佐々総合病院特別顧問・股関節センター長）指導の元、大腿骨頭壊死症に対する「骨切り術」等を学ぶ。

2014年から2015年まで国内屈指のHigh Volume Center（手術件数の多い医療機関）である「えにわ病院」（北海道恵庭市）に国内留学し、人工股関節、再置換術をマスター。

2020年、大腿骨頭部の骨壊死に対するナビゲーションを用いた効果的な大腿骨頭温存外科手術「大腿骨球状内反回転骨切り術」を考案、論文も発表。

2025年4月、一橋病院に股関節センターを開設。同時に同副院長・同センター長に就任、現在に至る。

[手術数]

■人工股関節全置換術：2,100例（2016年～）

■人工股関節再置換術：130例（2016年～）

■大腿骨頭回転骨切り術：30例（2021年～）

■大腿骨球状内反回転骨切り術：45例（2021年～）

■棚形成術：35例（2021年～）

股関節センターのご案内②

「大腿骨球状内反回転骨切り術」を考案

今年4月、一橋病院に「股関節センター」が開設され、センター長として就任したのが渡邊実先生です。昨今、コンピューター支援手術（CAS：Computer-Assisted Surgery）を用いた手術が主流となりつつある整形外科領域において、渡邊先生はこれまで2,500例以上の手術を執刀してきたスペシャリストです。今回は股関節センターの特徴や立ち上げへの想い、先生が考案した「大腿骨球状内反回転骨切り術」についてお話を伺いました。

（撮影：松村健人）



低侵襲かつ効率的な治療法を追求

—— 股関節センター立ち上げの経緯や開設への想い

私自身、これまで約20年間にわたり大学病院で股関節疾患の治療に専念し、累計2,500例以上の手術を執刀してきました。近年では2021年よりCT-based Navigationを用いたコンピューター支援手術（CAS）を導入し、人工股関節置換術や大腿骨骨切り術の精度と安全性を高めることに注力してきました。この先進的な治療技術をより多くの患者さまに届けたい。その想いが次第に強くなり、臨床に専念できる環境でより専門性を発揮したいと考えるようになり、ご縁から当院で股関節疾患に特化したセンターを立ち上げる機会をいただきました。

ゼロからのスタートでしたが、理念を共有できるスタッフに恵まれ、無事に形を整えることができました。立ち上げに際しては、最新の医療機器の整備や手術室スタッフに対する手術手順の教育など、多くの課題がありました。そのすべては「患者さまを痛みから解放し、再び自分の足で歩けるようになって欲しい」という信念に基づくものです。特に手術室スタッフの献身的な支援には言葉では尽くせないほど感謝しています。開設からわずか1カ月で通常の人工関節手術時間約40分程度で完了できる体制を整え、スムーズな治療提供が可能となりました。これは大学病院で行っていた治療とほぼ変わりません。



股関節センターのご案内③

センターの特徴や対象疾患・検査/治療について

当センターでは「安心・正確・低侵襲」をモットーに、CASを駆使した股関節専門治療を提供しています。対象疾患は以下の通りで、全年齢層にまたがる幅広い股関節疾患に対応しています。

- ・変形性股関節症
- ・大腿骨頭壊死症
- ・人工股関節のゆるみ・感染・周囲骨折
- ・小児の大腿骨頸部骨折後の外傷性大腿骨頭壊死症
- ・ペルテス病・大腿骨頭すべり症などの小児疾患

治療の中心となる人工股関節置換術（THA：Total Hip Arthroplasty）は、これまでに2,100例以上を執刀し、手術時間は平均30～40分、出血量も最小限に抑えることができ、術後の回復も非常に早いのが特徴です。さらに、若年層の患者さまに対しては、日本で発展してきた関節温存術をCASの力を取り入れることにより、より正確に早く手術することが可能となりました。たとえば、「大腿骨頭回転骨切り術」は股関節手術のなかでももっとも難しい手術と言われていますが、CASでリアルタイムにどこをどの方向に切っているのかを把握することができます。また、術前計画を術中に正確に再現できるので、車のナビゲーション同様、最短で目的地に辿り着くことができ、手術時間も100分程度。出血量も250cc程度の低侵襲な手術となっています。「骨切り術」の懸念事項でもあった長期入院に対しても、両側性の骨頭壊死であったとしても両側同日に手術することが可能となりました。



CAS導入によって再現性が高まり、時間も短縮、術後の成績も向上

私が考案した「大腿骨球状内反回転骨切り術（SVRO：Spherical Varus Rotational Osteotomy）」もCASで成り立つ手術のひとつです。大腿骨頭壊死症に対する骨温存外科手術には「大腿骨頭回転骨切り術」と「彎曲内反骨切り術」があり、難易度・手術時間を考慮すると一般的に後者の方が優れていると言われています。そこで私はCASを使用し、大腿骨を球状（彎曲状）に骨切り、内反とともに前方回転を行う「大腿骨球状内反回転骨切り術」を2020年に開発しました。ポイントは、大腿骨を球状にして股関節の可動域に直接影響を及ぼす「前捻角（ぜんねんかく）※」を合わせること。手術の難易度は回転骨切り術ほど難しくはなく、術後の成績は大変良好です。

古くからある「棚形成術」に対しても、CASを取り入れ、移植骨片を臼蓋外側に正確に設置することができて臨床成績も向上しています。このように10代から30代の方には人工関節置換術をできるだけ遅らせ、自己関節を可能な限り残す治療を目指しています。また、従来は術者の経験や勘に頼っていた「骨切り術」においてもCASを導入することで、より正確な施術が可能となりました。結果、術後の成績が向上し、かつては考えられなかった「手術後にスポーツ復帰を果たす」若者たちも増えてきています。

※「前捻角」とは、大腿骨体部と大腿骨頸部の捻じれのこと。正常でも大腿骨体部に対して大腿骨頸部は10度～15度前方に捻じれている状態。

股関節センターのご案内④

患者さまの生活を取り戻すことがゴール —— 治療する際に心がけていること

私たちが目指しているのは「手術の成功」は当然のことながら、その先にある患者さま一人ひとりの『生活を取り戻す』ことが本当のゴールだと考えています。「歩けるようになる」「痛みなく眠れる」「好きなことを再び楽しめる」——そうした日常を1日でも早く取り戻していただくために、術前の丁寧な説明から、術後のリハビリ、さらには社会復帰に至るまで真摯に向き合うことを常に心がけています。そして手術においてもっとも大切なのが手術の「定型化」です。同じことを進めることで、手術室スタッフたちも安心してついてきてくれます。

今後のビジョン

当センターでは初診から1カ月以内に手術を行える体制を整えており、「待たせない医療」も大切にしています。早期に治療を受けていただくことで、症状の悪化を防ぎ、より良い結果につなげることができます。さらに今後は、特に若年者に対する骨切り術において、CASの利点を活かしながら、両側同日骨切り術といった、より低侵襲かつ効率的な治療法を追求していきたいと考えています。股関節に悩みを抱えるすべての世代に、最良の治療が届けられるよう、今後も歩みを止めず進化しつづけるセンターでありたいと思います。



手術実績 一橋病院にて

2025年4月～9月

人工股関節全置換術	79例
短縮骨切術併用	2例
人工股関節再置換術	3例
大腿骨頭回転骨切り術	1例
大腿骨球状内反回転骨切り術	2例
棚形成術	1例
その他股関節手術	6例

股関節センターの受診について

基本予約制となります。ご予約やご相談がある方は下記までご連絡ください。

☎042-343-1311 予約受付時間 平日9:00～16:30 土曜9:00～12:30

	月	火	水	木	金	土
AM				渡邊		
PM	渡邊		渡邊			

変形性股関節のリハビリについて

2025年4月から股関節センターが当院に開設されて約半年が経過しました。それに伴いリハビリテーション科のスタッフも今まで経験のなかった術後の患者様を担当する等、リハビリテーション科としても新たな気持ちで新たな症例や患者様と向き合いながら日々の業務に取り組んでいます。今回はその股関節手術に関するリハビリテーションの流れや内容、患者様やスタッフの声をお伝えします。

リハビリテーション科では

①手術前 ②手術後 ③退院後 に患者様に関わります。

①では手術前に実際の歩行している様子を撮影したり、“JOA スコア”という評価表を用いて『股関節周囲の疼痛や可動性、歩行能力や現状 ADL（日常生活動作）』などの項目から患者様の状態を評価します。

②では術後の患者様に対して翌日より術後リハビリテーションが開始となり、早い方では翌日から歩行練習が始まります。他には可動域拡大練習、荷重練習や筋力トレーニング、歩容の修正、階段昇降練習等を実施し退院を目指します。

③では手術後、退院後の生活環境におけるフォローや更なる筋力強化や可動域改善に向けての自主トレ指導等を実施し外来リハビリテーションを継続します

【手術を受けた患者様の声】

- ◎もっと早くやれば良かった
- ◎痛みが無くなって何より嬉しい
- ◎夜ぐっすり眠れるのが嬉しい
- ◎諦めていたこと全てができるようになった



【リハビリスタッフの声】

- ◎患者様は力が入り易いので“脱力させる”を意識している
- ◎膝立ちや四つ這いの姿勢等も取り入れたリハビリをしている

【自主トレ運動一例紹介…クラムシェル】

貝のように股関節を開く殿筋エクササイズ！

目的；お尻（中殿筋や大殿筋）の筋力強化・活性化
Point

- ①しっかり横向きに寝て膝と股関節を曲げる
- ②股関節は45°（膝を少し前に突き出す程度）
- ③両踵を合わせて膝をゆっくりと開く
- ④膝を開いた時に体が後ろに傾かないように行う

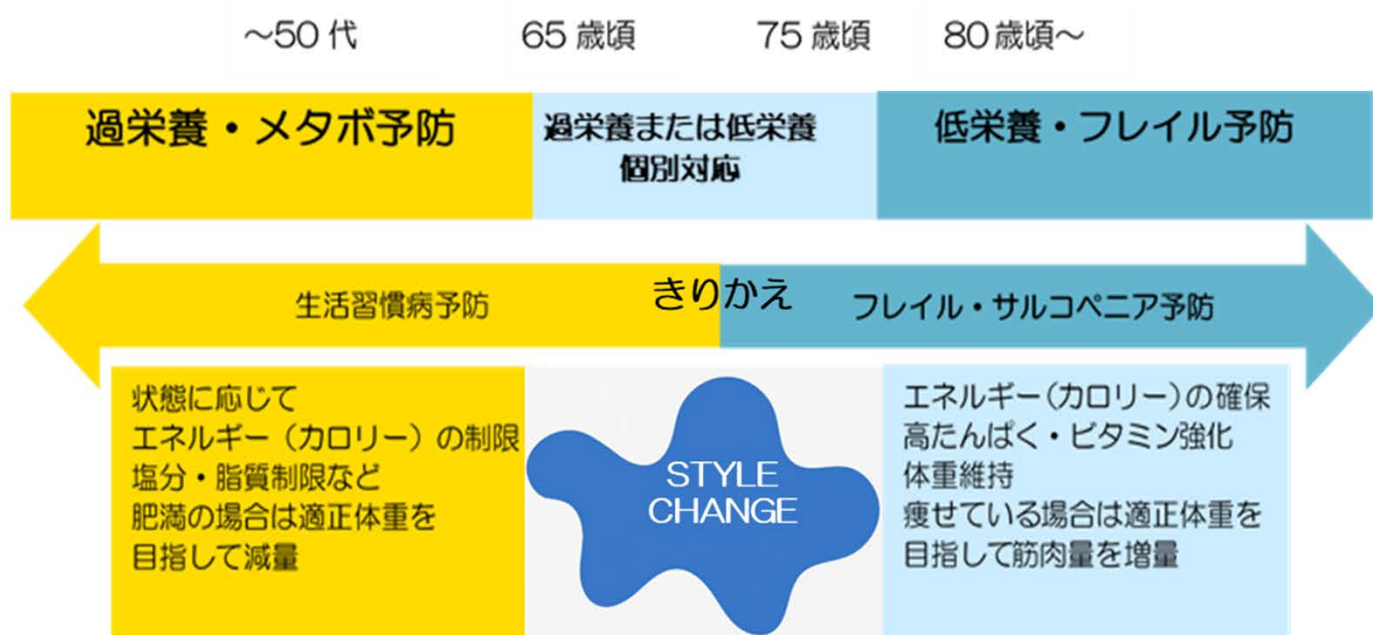


フレイル予防のための食事ポイント

60代頃までは、生活習慣病予防のために「過栄養（メタボリック・シンドローム）の予防・対策」が必要ですが、高齢者はフレイル（虚弱）やサルコペニア（筋肉量減少）予防のために「低栄養予防・対策」が非常に重要になってきます。

そのため「食事の制限」⇒「積極的に栄養を摂る」方向に、考え方を切り替えることが必要なケースが多くあります。栄養面の課題や切り替えのタイミングは個々に異なりますが、筋力が低下しないように早めに気づき、対応することが大切です。

日々の食事管理と運動を組み合わせ、元気に過ごせる期間（健康寿命）を延ばしましょう！



3食のごはんをLEVEL UP!!

1品プラスでたんぱく質アップ、必要に応じて間食を加えることでエネルギーもアップも図れます。食が細い方は、おかずから先に食べる、1回の食事を減らして数回に分けて食べるなどの工夫も取り入れてみましょう。

※基礎疾患があり、食事療法が必要な方は医師・管理栄養士にご相談ください。



朝食

トーストにハム&チーズ
プラス牛乳で
朝からしっかり高たんぱく



昼食

素うどんに
卵、肉、かまぼこで
たんぱく質アップ



間食

フルーツヨーグルトで
おやつから栄養補給



夕食

和食で魚、豆腐の味噌汁
バランスよく
たんぱく質アップ

外来担当医表（2025.11～）

2次救急指定医療機関（24時間救急体制）

科目	時間帯		月	火	水	木	金	土
内科	A M	1 診	徐（一般）	丸山（循環器）	鎌田（一般）	佐藤（腎臓）	丸茂（膠原病）	北川（一般・神内）
		2 診	丸山（循環器）	石橋（一般・血液）	丸茂（膠原病）	渡邊（糖尿病）	靱山（一般）	靱山（一般）
		3 診		山口（健診）		青鹿（循環器）	石川（健診）	
	P M	1 診	河西（一般）	鎌田（一般）	丸山（循環器）		丸茂（膠原病）	
		2 診		靱山（一般）	丸茂（膠原病） 予約制 診察15：30迄	渡邊（糖尿病）	靱山（一般）	
		3 診			濱上（循環器）	青鹿（循環器）		
睡眠時 呼吸障害	AM				濱上 （予約制）			
外科	AM		朝蔭	朝蔭	小暮	坂本	小島	山竹
	PM		坂本		小暮	山竹	小島	
形成外科	AM		長尾	長尾	塚本	長尾		北澤
	PM				塚本 14:30～	北澤 （眼瞼下垂）	塚本	
乳腺外科	AM						伊坂 予約枠 診察9：50～	
整形外科	A M	1 診	清水(陽)		味八木	村木	安部	村木
		2 診	中村	松久	斎藤	中村	増田	第1・3 担当医 第2 酒井 第4・5 辺見
	P M	1 診	村木 15：00～	増田 15：00～	味八木 14：00～	清水(陽) 15：00～	安部 14：00～	
		2 診	内田(俊)	松久	斎藤	中村		
股関節 センター	AM					渡邊		
	PM		渡邊		渡邊			
脳外科	AM		米谷 9：30～	11/4・18鈴木 11/11・25米谷	米谷 9：30～	米谷 9：30～	永根 初診受付11:00迄 再診受付11:30迄	佐川
	PM			11/4・18鈴木 受付15：30迄 11/11・25米谷		米谷	岩間	
皮膚科	PM			久保				
泌尿器科	AM		北原	北原	内田	内田	内田	青
	PM		内田	内田	内田		内田	

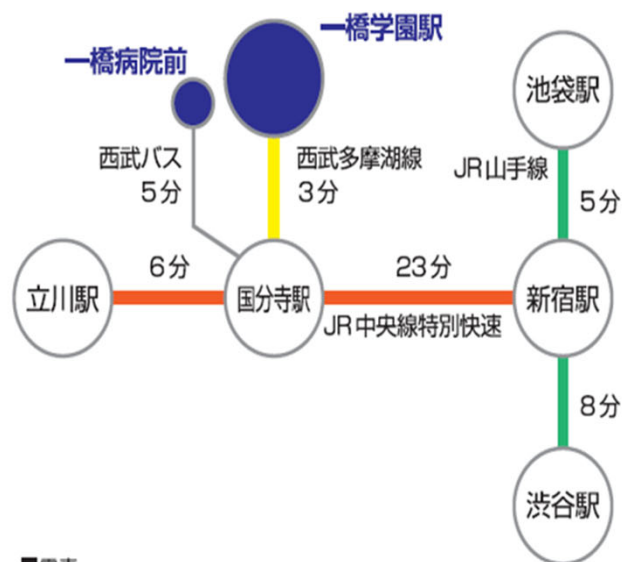
受付【初診】
平日：午前8：15～11：30 午後13：30～16：00
土曜：午前8：15～11：30
【再診】
平日：午前8：15～12：00 午後13：30～16：30
土曜：午前8：15～12：00

初診とは
・当院を初めて受診される方
・新たな症状・お怪我等で受診される方
・一定期間受診されていない方

・午前の診療は9：00～、午後の診療は14：00～となります。
・診療科により一部受付時間が異なりますので、詳しくは外来担当医表をご確認ください。
・都合により外来担当医が変更となる場合があります。
・緊急手術などで、外来が休診となる場合があります。
・形成外科、乳腺外科、睡眠時呼吸障害は事前に電話にて予約をお願いします。

休日・夜間
当院では、休日・夜間診療として救急患者様を随時受け付けております。曜日により勤務医師の診療科目が異なりますので、お電話にてお問い合わせの上、ご来院ください。
[TEL 042-343-1311](tel:042-343-1311)

*赤字は女性医師



■電車

西武多摩湖線：一橋学園駅南口下車 徒歩5分

■バス

西武新宿線：小平駅南口より国分寺駅北口行き「一橋病院前」下車

JR中央線：国分寺駅北口より小平駅南口行き「一橋病院前」下車



医療法人社団武蔵野会

一橋病院

〒187-0045 東京都小平市学園西町1-2-25

TEL.042-343-1311 FAX.042-342-2006

<http://www.hitotsubashi-hp.or.jp/>

東京都指定二次救急医療機関

日本医療機能評価機構認定病院

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本形成外科学会認定教育関連施設

マンモグラフィ健診施設画像認定



◆面会時間 平日・土曜日（祝日を除く）
14:00～17:00

<職員募集>

当院で勤務していただけるスタッフを募集しています。

【募集職種】医師、看護師、准看護師、看護助手、救急救命士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療情報管理士、医療ソーシャルワーカー、医事課事務員、総務課事務員

入職お祝い金のご案内

紹介会社、派遣会社を使用せず、直接応募し入職された方へ『入職お祝い金』を支給します。

*詳細はホームページ又は、右記までお気軽にお問い合わせください。042-343-1311 総務課